

コスト削減だけでなく、地域活性化の視点 についての考え方は

地域の活力を損なわないよう進めていきたい



村上 誠

自由民主党田原市議団



公共施設適正化の推進について

- 問** 田原市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の具体的な内容は。
- 答** 国のインフラ長寿命化基本計画の必要項目を踏まえ策定した上で、市総合管理計画と整合するよう調整を進めている。
- 問** 各個別施設計画には、具体的な統廃合などのスケジュールは示されているのか。
- 答** 統廃合を行う際の基準は示しているが、具体的なスケジュールについては、既に方針決定された施設以外には示されていない。
- 問** 今後の人口減少が施設適正化に大きな影響を与えらると思うが、どう対応していくのか。
- 答** 国の指針では各計画について、不断の見直しを実施することとされているため、今後の社会情勢の変化等に応じ、適宜見直しを行っていく。
- 問** 市民館や文化会館などは、どのような視点で適正化を進めていくのか。

- 答** 財政的な視点だけでなく、行政サービスの最適化や、まちづくりにおける視点なども踏まえ進めていく。
- 問** コスト削減の視点のみではコミュニティ圏域施設(※)の魅力や利便性が損なわれると危惧しているが、コミュニティ圏域施設の複合化を検討する場合のプロセスは。
- 答** 地域にあった施設とするために、施設の場所や規模、サービス機能、経費など多角的な検討が必要である。複合化のパターンや民間整備手法などについて総合的な調整を行い、関係部署の連携の下に進めていくことを想定している。
- 問** コスト削減だけでなく、地域活性化の視点についてはどう考えているか。
- 答** 民間活用による効率的な運営や複合化による利便性の向上など、全市的・横断的な視点を持ち、地域の活力を損なわないよう進めていきたい。

※コミュニティ圏域施設
市民館や保育園、小中学校など市民に身近な施設

問

介護予防活動による効果は、
介護予防教室で中間評価として実施した体力測定では、「日常生活に必要な筋力」「柔軟性」などの項目で改善との結果が出た。また、アンケート結果では「今後も運動を続けたい」が8割以上あり、教室参加が運動の継続への意欲につながっているものと考えている。

問

介護予防事業の現状は、
要介護状態を未然に防ぐため、高齢者の誰もが参加できる介護予防事業を実施している。閉じこもりや認知症予防、口の機能向上などに重点を置いた介護予防教室の開催や、教室への参加につなげる等の取り組みを行っている。さらに、住民全体の活動の支援と介護予防推進員の養成等、支える側の育成も行っている。

高齢者の多様な活躍に関する取り組みについて

高齢者の社会参加促進に向けた取り組みとは

有償ボランティアなどの活動と高齢者のマッチング等、新たな仕組み作りを検討していきたい



内藤 喜久枝

自由民主党田原市議団

